

『滋賀県の観光振興について』

~シガリズムでつなぐ、滋賀らしい観光の創出をめざして~



令和6年9月 滋賀県商工観光労働部 観光振興局



1. 滋賀県の紹介

(1) 滋賀県 アクセス



中部・関西の都市圏から かんたんアクセス





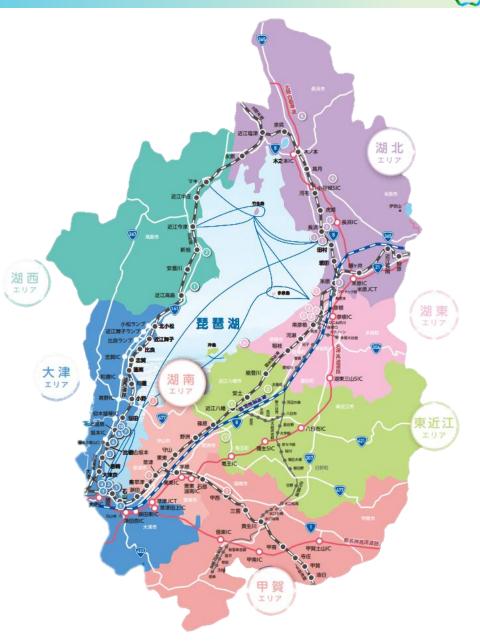


JR利用の場合

- ◇京都駅~大津駅
- → 約10分
- ◇大阪駅~大津駅
- → 約40分

新幹線利用の場合

- ◇名古屋駅~米原駅 → 約25分
- ◇東京駅 ~米原駅 → 約120分



(2) 日本一の「琵琶湖」



生い立ち:440万年前

◇世界でも有数の古代湖

貯水量: 約 275億 m3

◇1,450万人の水道用水

◇住民や企業がその水を利用しながら水質を維持

生態系:60種を超える固有種

◇ラムサール条約の登録湿地

















(3) 文化財の宝庫



国指定の重要文化財(国宝を含む) 指定件数 828 件は 全国 4 位

(2022.12.12現在)









滋賀県観光振興局

(4) 滋賀の食





☆昨年7月に琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業(琵琶湖システム)が「世界農業遺産」に認定されました!









湖魚

豊かな自然に育まれた 様々な湖の幸

近江牛

豊かな自然環境と水に 恵まれた滋賀県内で肥 育された近江牛

近江の茶

日本茶葉・発祥の地と 言われ、全国茶品評会 などで上位入賞した茶

滋賀の地酒

豊かな水と肥沃な土壌 により育った良質な酒 米による酒造り

(5) 日本一の長寿県、MLGs



平均寿命 男性 82.73年で全国 | 位 (前回 I 位) 女性 88.26年で全国 2 位 (前回 4 位)





出典:厚生労働省「令和2年都道府県別生命表」





2021年7月に「びわ湖の日」40周年を契機に多様な主体とつくった







琵琶湖版SDGs



みんなで持続可能な滋賀へ



(6) 滋賀の精神文化①

仏教文化

仏教由来の大切なこころ

◇一隅を照らす

◇忘己利他 など





湖東三山







(7) 滋賀の精神文化②



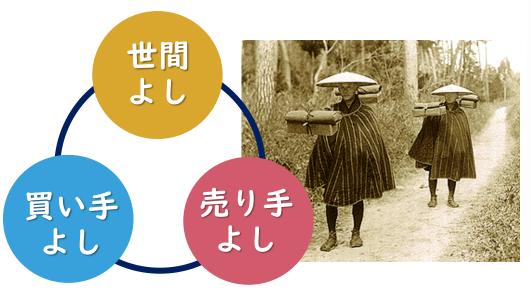
出店分布図 (江戸時代)

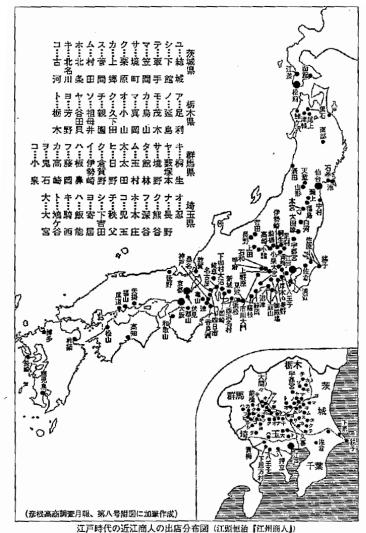
Ⅱ 三方よし

近江商人

行商から身を起こして、全国各地に 商圏を拡大

☞江戸時代からCSR!





(8) 滋賀県 観光地①















全国約3,800の「山王さん」の総本宮で、日吉造といわれる本 殿は国宝。渓流が流れる境内には美しい社殿が点在し、秋は紅 葉に映えて美しい眺めが楽しめます。

●大津市坂本5-1-1/京阪坂本駅 下車 徒歩10分 TEL.077-578-0009



竹生島



都久夫須麻神社と西国30番札所宝厳寺があり、古くから信仰 を集める島。近年はパワースポットとして人気を集めています。 ●長浜市早崎町竹生島/長浜港から船で約30分 TEL.0749-65-6521(長浜観光協会)

(9) 滋賀県 観光地②









長浜曳山まつり

4月に行われる長濱八幡宮 の春の祭礼で日本三大山車 祭りの一つ。納獺豪華な曳 山の上では、華麗な子ども 歌舞伎が奉納されます。 ユネスコ無形文化遺産にも 登録されています。

●長浜市街地一帯 JR長浜駅下車 徒歩15分





近江神宮

祭神は大津京を建都した天智天皇。天智天皇が「小倉百人 一首」の第1首目を詠んだことにちなんで、競技かるたの名 人位・クイーン位決定戦が毎年1月に行われます。

●大津市神宮町1-1/京阪近江神宮前駅下車 徒歩10分 TEL.077-522-3725



4 園城寺(三井寺)

近江八景「三井の晩鐘」で名高い天 台寺門宗総本山。境内には天智・天 武・持統天皇の産湯に用いられたと される霊泉があり、三井寺の名の由 来となっています。

●大津市園城寺町246 京阪三井寺駅下車 徒歩10分 TEL.077-522-2238

比叡山延暦寺

西暦788年(延暦7年)に最澄が開いた天 台宗の総本山。山全体が寺域で、根本中堂 を中心とした東塔、釈迦堂を中心とした西 塔、横川の3地区に分かれ、国宝・重要文化 財の指定を受けた建物が点在しています。 日本仏教の一大聖地として、平成6年には 世界文化遺産に登録されています。

●大津市坂本本町4220 JR比叡山坂本駅下車 徒歩20分 坂本ケーブル終点下車 TEL.077-578-0001

多賀大社

祭神は天照大神の両親である伊邪 那岐命と伊邪那美命。「お多賀さん」 の名で親しまれ、延命長寿・縁結びの 神として古くから全国的な信仰を集 めてきました。

●多賀町多賀604 近江鉄道多賀大社前駅下車 徒歩10分 TEL.0749-48-1101



(10) 滋賀県 観光地③









安土城跡

標高199mの安土山一帯にある織田信長の居城跡。天主 や本丸などの城跡のほか、石段が続く大手道の両側に残る 屋敷跡は、豊臣秀吉ら家臣団のものと伝えられています。

●近江八幡市安土町下豊浦/竜王ICから約20分 TEL.0748-46-6594









(11) 滋賀県 その他①









世界的にもめずらしい人が暮らす淡水湖の島。主な生業は 漁業で、伝統的な漁法や湖国の食文化、島のくらしの文化 が受け継がれています。

●近江八幡市沖島町/堀切新港から船で約10分 TEL.0748-36-5573(近江八幡市文化観光課)



小谷城の麓にひっそりと涌く須賀谷温泉は、浅井長政や お市の方も湯治に通ったと伝えられる名湯。泉質はヒドロ 炭酸鉄泉で、神経痛・筋肉痛・肩こり・冷え性・胃腸病・アト ビー・病後の治療・疲労回復に効果があるとされます。 ●長浜市須賀谷町36番地/長浜ICから約20分または小谷城SICから約7分



伊藤忠兵衛記念館

伊藤忠・丸紅の創始者、初代伊藤忠兵衛の旧邸。愛用品を はじめ、多くの資料が展示され、繊維卸商から「総合商社」 への道を拓いた足跡が紹介されています。

●豊郷町八目128-1/湖東三山SICから約10分 TEL.0749-35-2001



集落の各所から自噴する湧水を生活水として利用する 「カバタ」が、現在も暮らしの中で使われるなど、エコな 水循環システムが形成されています。

●高島市新旭町針江/JR新旭駅下車 徒歩15分 TEL.0740-25-6566※カバタ見学(要予約)





豊郷小学校旧校舎群

近江商人・古川鉄治郎によって寄贈され、建築家ウィ リアム・メレル・ヴォーリズの設計で昭和12年に完成 した豊郷小学校旧校舎群は、当時「東洋一の小学校」 と讃えられました。現在は、町立図書館など町の複合 施設として利用されています。

●豊郷町石畑518番地/近江鉄道豊郷駅下車 徒歩10分 TEL.0749-35-3737(豊郷町観光協会)

長浜太閤温泉

秀吉が長浜城に移り男子が出生したことから、"子宝の

湯'と呼ばれるようになったと言われる長浜太閤温泉。泉

質は含鉄泉でにごり褐色系、神経痛、リューマチ、更年期

障害、婦人病、貧血症などの効能があります。

●長浜市公園町他/長浜ICから約15分 TEL.0749-65-6521(長浜観光協会)

(12) 滋賀県 その他②







シャワークライミング

東近江市奥永源寺の豊かな自然の中で楽しむ渓流 アクティビティ。愛知川上流域を知り尽くすガイドの サポートのもと、沢や滝を泳いで、登って、飛び込ん で、流れて、マイナスイオンと天然シャワーを全身に 感じる爽快感いつばいの体験ツアーです。

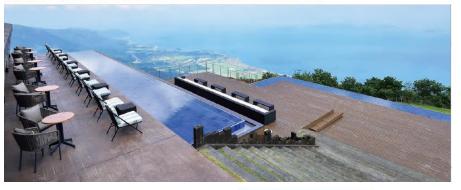
●東近江市紅葉尾町/八日市ICから約30分 TEL.052-788-7575(パワーゾーン) TEL.080-9742-7457 (鈴鹿ガイドサービス) TEL.090-5168-4219 (アウトドアクラブNUTS) TEL.078-360-1830(タオアドベンチャー) TEL.0748-32-3418 (Dive Buddy)



甲賀の里 忍術村

石垣登りや壁づたい、綱渡り、 丸太橋を渡る一本渡り、井戸 抜けの術などのほか、水上歩 行器を使って水の上を渡る水 蜘蛛の術などが体験できる忍 者道場。修行を終えると免許 皆伝の巻物がもらえます。

●甲賀市甲賀町隠岐394/甲南ICから約10分 TEL.0748-88-5000







十二坊温泉ゆららオートキャンプ場

岩根山の中腹にある日帰り温泉に併設されたキャンブ場。 敷地内にはジョギングコースが整備され、周辺ではハイキ ングやトレッキングも楽しめます。

●湖南市岩根678-28/竜王IC·栗東湖南ICから約10分 TEL.0748-76-3811

(13) 滋賀県 名産品



400年の伝統を受け継ぎ、丹 精込めて手作りされています。

高島ちぢみ

表面に独特の「しぼ」を織り出し

た、さらりとした肌触りの織物。





日本茶業発祥の地とされる近江。 5大銘茶産地の一つ「朝宮茶」をは じめ、「政所茶」など古くから質の 高い茶が栽培されてきました。



近江の地酒

米どころで豊かな天然水 に恵まれた滋賀は美酒の 宝庫。蔵それぞれにこだ わりの地酒、個性豊かな 名酒がそろいます。









飛び出し坊や

飛び出し注意看板「飛び出し 坊や」誕生の地、滋賀。初め て設置されたのは1973年の こと。ゆるきゃらのほかグッズ もいろいろ作られています。



2. 観光を取り巻く状況等

(1) 滋賀県 観光入込客数ベスト30(コロナ前とコロナ禍)



R元年

11/					
順位	観 光 地 名	市町名	観光入込客数(人)		
1	ラ コリーナ近江八幡	近江八幡市	3, 226, 900		
2	黒壁ガラス館	長浜市	2, 227, 700		
3	多賀大社	多賀町	1, 783, 300		
4	道の駅 藤樹の里あどがわ	高島市	855, 100		
5	希望が丘文化公園	野洲市、湖南市、竜王町	843, 500		
6	道の駅 妹子の郷	大津市	837, 000		
7	道の駅 あいとうマーガレットステーション	東近江市	782, 200		
8	草津川跡地公園(区間2・区間5)	草津市	774, 500		
9	彦根城	彦根市	766, 700		
10	日牟禮八幡宮	近江八幡市	715, 000		
11	道の駅 竜王かがみの里	竜王町	628, 800		
12	道の駅 びわ湖大橋米プラザ	大津市	559, 000		
13	比叡山ドライブウェイ	大津市	530, 500		
14	矢橋帰帆 鳥 公園	草津市	514_900		
15	比叡山延暦寺	大津市	513, 500		
16	道の駅 アグリパーク竜王	竜王町	509, 000		
17	琵琶湖博物館	草津市	506, 800		
18	太郎坊宮	東近江市	499, 300		
19	マキノ高原・さらさ	高島市	450, 400		
20	陶芸の森	甲賀市	421, 500		
21	道の駅 せせらぎの里こうら	甲良町	420, 900		
22	道の駅 湖北みずどりステーション	長浜市	408, 700		
23	豊公園	長浜市	408, 200		
24	道の駅 塩津海道あぢかまの里	長浜市	404, 100		
25	道の駅 伊吹の里	米原市	390, 200		
26	田村神社	甲賀市	389, 500		
27	八幡堀	近江八幡市	367, 400		
28	びわ湖大花火大会	大津市	350, 000		
29	道の駅 アグリの郷栗東	栗東市	345, 200		

(公開了承施設についてのみ掲載しています。)

R 2年

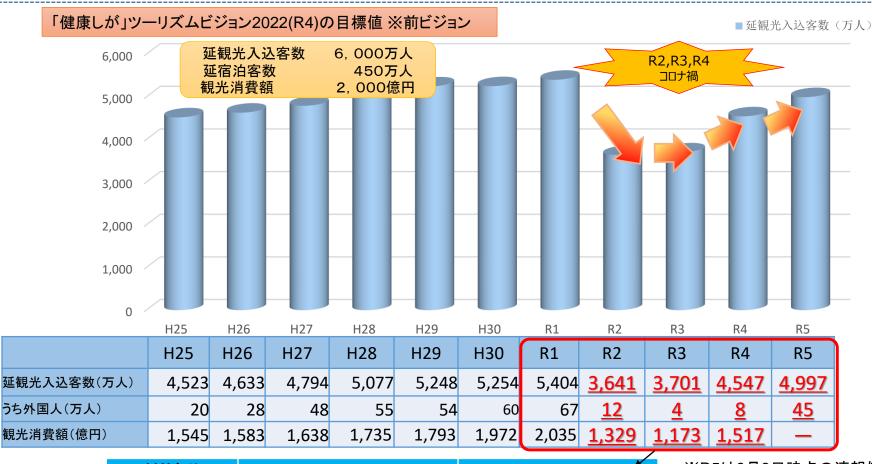
1 / 6						
順位	観 光 地 名	市町名	観光入込客数(人)			
1	ラ コリーナ近江八幡	近江八幡市	2, 331, 300			
2	多賀大社	多賀町	1, 612, 100			
3	黒壁ガラス館	長浜市	1, 207, 700			
4	草津川跡地公園(区間2・区間5)	草津市 770,100				
5	道の駅 藤樹の里あどがわ	高島市	757, 900			
6	道の駅 妹子の郷	大津市	718, 000			
7	道の駅 あいとうマーガレットステーション	東近江市	645, 300			
8	道の駅 竜王かがみの里	竜王町	528, 100			
9	希望が丘文化公園	野洲市、湖南市、竜王町	496, 900			
10	近江神宮	大津市	491,000			
11	道の駅 アグリパーク竜王	竜王町	462, 000			
12	日牟禮八幡宮	近江八幡市	451,000			
13	道の駅 びわ湖大橋米プラザ	大津市	442, 800			
14	びわ湖バレイ	大津市	434, 200			
15	道の駅 せせらぎの里こうら	甲良町	402, 700			
16	比叡山ドライブウェイ	大津市	394, 400			
17	矢橋帰帆島公園	草津市	386, 700			
18	道の駅 塩津海道あぢかまの里	長浜市	381, 900			
19	道の駅 伊吹の里	米原市	369, 100			
20	彦根城	彦根市	367, 300			
21	陶芸の森	甲賀市	362, 700			
22	ファーマーズマーケットおうみんち	守山市	348, 500			
23	道の駅 アグリの郷栗東	栗東市	344, 400			
24	道の駅 奥永源寺渓流の里	東近江市	338, 800			
25	田村神社	甲賀市	333, 000			
26	比叡山延暦寺	大津市	316, 400			
27	太郎坊宮	東近江市	298, 900			
28	奥びわスポーツの森	長浜市	293, 200			
29	近江富士花緑公園	野洲市	278, 600			
30	道の駅 くつき新本陣	高島市	262, 800			

(公開了承施設についてのみ掲載しています。)

(2) 滋賀県観光の現状について



- <mark>令和4年(2022年)</mark>観光入込客数<u>6,000万人</u>の早期達成を目指し観光振興を展開
- しかし、コロナ禍によりR2,R3,R4年の観光客は大幅に減少



 対前年比
 R2 - R1
 R4 - R1

 延観光入込客数
 ▲1,762万人(△32.6%)
 ▲857万人(△15.9%)

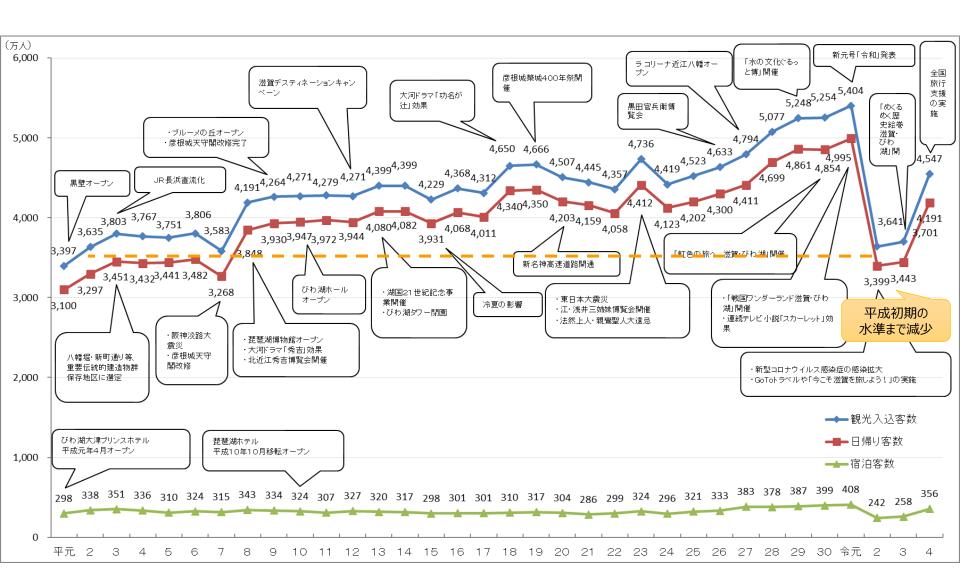
 外国人観光客
 ▲55万人(△82.5%)
 ▲59万人(△87.7%)

 観光消費額
 ▲708億円(△34.6%)
 ▲518億円(△25.5%)

※R5は9月3日時点の速報値

(3) 平成以降の観光入込客数の推移(滋賀県)





(4) 延べ宿泊客数の比較(R元年とR2年比較)







●滋賀県の令和元年と令和2年の延べ宿泊者数を比較すると前年同月比で▲47.3%となった。(全国 ▲48.9%)

(全国)

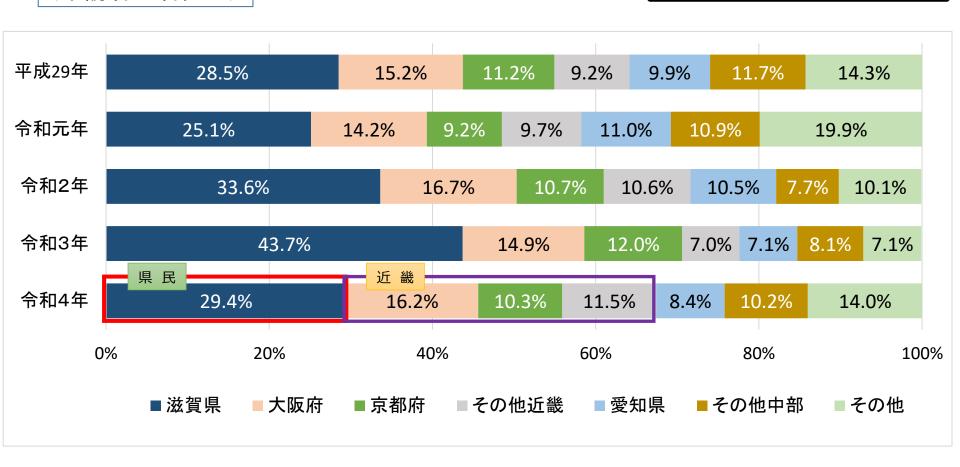
全国	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	42,684,710	43,539,370	51,147,600	50,718,730	51,402,690	45,810,390	51,780,530	63,234,040	48,761,240	50,052,850	49,659,370	47,129,960	595,921,480
令和2年	43.156.910	37,443,380	23,940,920	9,706,670	7,785,180	14,240,840	21,578,040	26,149,030	26,020,820	32,412,890	34,501,310	27.863.790	304.799.780
前年	43,130,910	37,443,380	23,340,320	3,700,070	7,763,180	14,240,840	21,378,040	20,143,030	20,020,820	32,412,630	34,301,310	27,803,730	,,
同月比	1.1%	-14.0%	-53.2%	-80.9%	<u>-84.9%</u>	-68.9%	-58.3%	-58.6%	-46.6%	-35.2%	<u>-30.5%</u>	-40.9%	<u>-48.9%</u>

(5) 来訪者の居住地(滋賀県)



(来訪者の居住地)

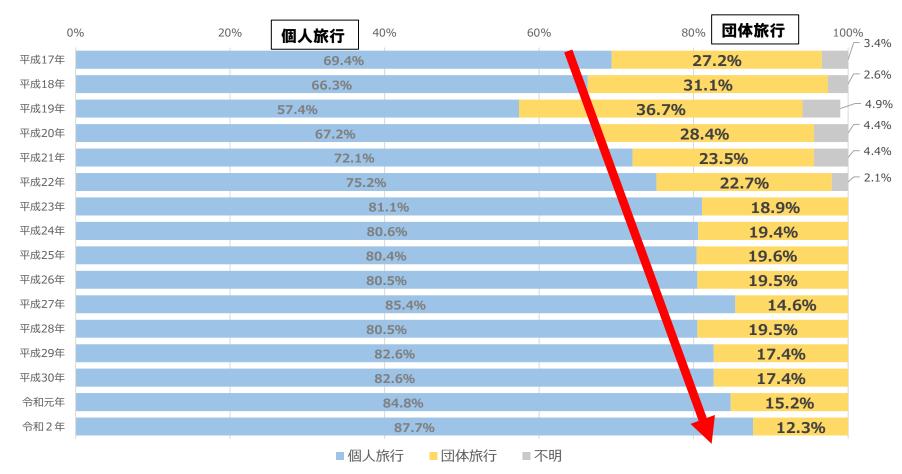
出典:「滋賀県観光入込客統計調査」より作成



- ●観光客の居住地内訳の約30%前後が県内居住者、約40%前後が近畿となっている。
- ●令和3年においては、県内居住者が約44%、近畿からが約34%となっている。
 - ⇒コロナ禍を受けて、コロナ禍前より<mark>県民や近隣府県からの来訪が増加している</mark>と考えられる。

(6) 旅行参加形態(団体旅行・個人旅行)割合の推移





資料: (公社)日本観光振興協会「観光の実態と志向」 令和2年度版

- ●<mark>団体旅行</mark>については、平成19年前後には約3割程度であったが、<mark>近年は2割以下</mark>となっている。
- ●コロナ拡大後の、令和2年においては、団体旅行がさらに減少している可能性がある。



3.「健康しが」ツーリズムビジョンの前倒し改定 ~シガリズム観光振興ビジョンの策定~

(1) 前ビジョンの1年前倒し改定について



【前ビジョン 「健康しが」ツーリズムビジョン2022について】

計画期間:2019年度から2022年度(令和元年度~令和4年度)

基本方針:「観光を架け橋に、つなぐ滋賀、つづく滋賀」

基本目標:「交流人口を拡大するとともに、観光消費の増加につなげる」

【前ビジョン目標(2022年度)】 ○宿泊者数 450万人 ○観光消費額 2,000億円 ○観光入込客数 6,000万人

【ビジョン改定の1年前倒し】

- ・前ビジョンの「健康しが」ツーリズムビジョン2022に基づき、毎年度アクションプランを策定し、<u>観光入込客数6,000万人</u>を達成することを目標に<u>観光施策</u>を積極的に展開してきたが、今回のコロナ禍により、観光を取り巻く環境は著しく変化した。
- ・前ビジョンでは、「健康しが」の理念を活かしながら、「宿型・滞在型観光の推進」し、「交流人口を拡大することで、観光消費の増加」につなげることを目標としていたが、コロナの影響により、当面は「量」だけを求める観光が困難となった。

(2) 新ビジョンの策定



【シガリズム観光振興ビジョンの策定】

- ・<u>コロナ禍を踏まえ</u>、新しい時代に合わせた、より安全で安心な<u>滋賀らしい観光振</u> <u>興を実施</u>するため令和4年度(2022年度)までが計画期間である<u>前ビジョンの改</u> <u>定を1年前倒しして、令和4年3月に「シガリズム観光振興ビジョン」</u>を策定した。
- ・コロナ禍により、人々の価値観やライフスタイルの更なる多様化、ワーケーションをはじめとした新たな旅のスタイルの注目など、環境の変化に対応していく。
- ・環境の変化を受けて、琵琶湖をはじめとする<u>本県の豊かな自然や歴史、文化、</u> 健康長寿を育む食、ゆっくり、ていねいな暮らし方など、滋賀の魅力が再評価されていることから、これらの強みを最大限に活かして、落ち込んだ観光市場を早期に回復させ、観光関連産業を中長期的に成長させていく。

(3) シガリズム観光振興ビジョンについて



【ビジョンの性格】

- ・「滋賀県基本構想」の理念を実現するための<u>部門別計画</u>であり、本県が取り組むべき観光振興の総合的な指針。
- ・滋賀県における<u>観光振興に係る基本的な考え方</u>を、観光事業者をはじめ各関係者と共有し、相互に連携しながら<u>総合的かつ効果的に推進</u>するため、本県における観光振興に向けた取組を掲げたもの。

【シガリズム観光振興ビジョン】

計画期間:令和4年度(2022年度)から令和12年度(2030年度)までの9年間

アクションプラン:行動計画となるアクションプランを3年ごとに策定し、その時々の

状況に応じた施策等を進める。



(4) コロナによる環境の変化と再認識



新型コロナ感染拡大により

○国内における旅行控え、訪日外国人の激減

⇒観光の取り巻く環境が大きく変化

コロナによって再認識

当たり前であった"つながり"の分断
 人とひと、人と社会、人と自然のつながりの大切さ

(5) 観光を「再発見・再評価」する機会



コロナ禍を経て

- より安全安心な観光が求められるとともに、 観光へのニーズが多様化
- ⇒ これまでのように観光客がたくさん来て、 単に消費するだけという観光から、 より本物の体験や経験を持ち帰っていただくことが重要

▶本県の観光を 「再発見・再評価」する機会

(6) コロナによる観光を取り巻く状況の変化



観光を取り巻く状況が大きく変化



<u>キーワード</u>

- ・三密(密閉・密集・密接)の回避
- マイクロツーリズム(地元・近隣の観光)
- 団体旅行から少人数(個人、家族)旅行へ
- アウトドア、健康・ウェルネスの関心の高まり

<u>コロナ禍で滋賀県の良さが注目</u>

適度な疎、大都市(愛知、京都、大阪)から近い、琵琶湖をはじめとする豊かな自然でのアクティビティ、健康長寿を育む滋賀の暮らしや食

(7) 滋賀県の観光の特徴



特徴・強み

- ・琵琶湖をはじめとした豊かな自然や景観
- ・豊富な歴史的・文化的資産
- ・琵琶湖が育んだ文化や環境に対する意識
- ・健康長寿を育む滋賀の暮らしや食
- ・広域交通ネットワークの充実による県外からの 恵まれた交通環境
- ・開放的でゆとりある空間
- ・ビワイチをはじめとした豊富なアウトドア系のアクティビティ

※下線はコロナ禍で改めて注目されるようになったもの

(8) 滋賀県の観光の課題



<u>課題</u>

- ・宿泊・滞在型観光の推進や認知度のさらなる向上への取組
- ・滋賀ならではの観光素材・モノづくりの促進
- ・地域住民が観光客とともに楽しむ気運の醸成
- ・持続可能な観光を実現できる環境整備
- ・県内各地をスムーズに周遊するための交通利便性の向上
- ・社会環境の変化等への対応 (SDGsやCO2ネットゼロ、自然災害等)
- ・コロナ禍からの回復への対応(事業者支援、需要回復)
- ・観光の質の向上(観光資源の高付加価値化等)への取組
- ・人々の価値観やライフスタイルの変化を受けた観光ニーズへの対応

※下線はコロナ禍で改めて注目されるようになったもの

(9)「観光」の原点とは



『観光」とは

- ▶ 「地域の良いところを観てもらう」という原点に立ち戻り 今後の観光振興を進めるべき
 - ※『観光』という漢字の語源【観行ではない】(「国の光を観る」)
 - ⇒ 国の「光り(良いところ)」を「観る」であると言われている ※「観に行く(観行)」ということが語源ではない。

「県民」

滋賀の「光」に磨きをかける(再発見・再評価) ことにより、さらなる誇りや地域への愛着が高まる

「観光客」



▶ 本当の「光」を深く体験・体感することにより 滋賀への愛着が生まれ、何度も訪れたくなる



「観光」の原点

(10) 観光の好循環



コロナ禍を経て、自然志向や健康志向が高まるなど、観光トレンドの変化を受けて、滋賀の良さが注目されており、本県観光に追い風となっていることから、県内の多様な主体が連携し、本県の自然や歴史、文化、暮らし、営みなどを体験・体感できる「シガリズム」を提供することで、観光の好循環を生み出していく。

【機 会】①

◇コロナ禍で滋賀県の良さが注目されている

(ビワイチ、キャンプ、グランピング、ア

クティビティ等)

⇒地域の魅力向上

【観光事業者】②

◇多様な主体の連携により、滋賀の時間の流れや暮らしを体験・体感できる旅を提供<u>(シガリズム)</u>

⇒観光の「質」を向上



好循環

【県 民】④

◇観光客との交流を通じて、滋賀の 魅力や評価を再認識し、滋賀への 誇りや地域への愛着が高まる

⇒シビックプライドの醸成



【観光客】③

◇滋賀を深く体験・体感するツーリズム を経験することにより、滋賀への愛着が 生まれ、地域を大事にし、何度も訪れ たくなる

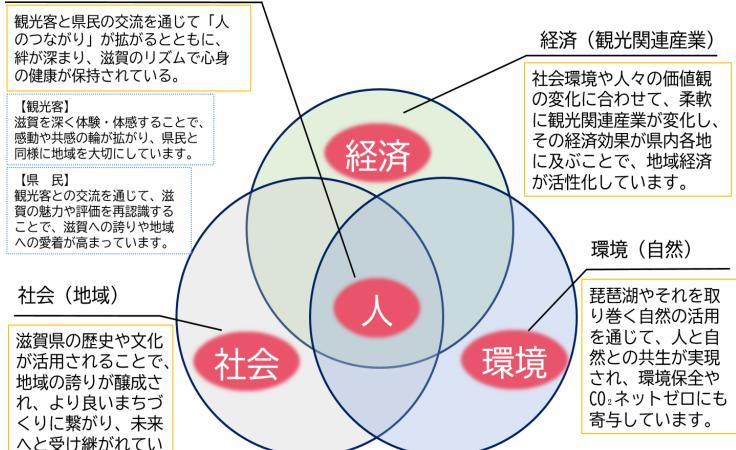
⇒関係人口の増加

(11) 2030年のめざす姿



人(観光客と県民)

ます。



「シガリズム」の提供を通じて、より良い地域社会が実現し、 持続可能な観光を推進する滋賀県

(12) 基本方針



「シガリズム」を共通コンセプトとした観光の推進

- ・観光地を単に巡るだけでなく、滋賀の自然に触れ、滋賀に暮らす人々と出会い、交流すること <u>で、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れ、暮らしに息づく生活文化、営み、歴</u> 史、伝統などを、より深く体験・体感し、心のリズムを整えることができる新たなツーリズムを 「シガリズム」として推進する。
- ・「シガリズム」を本県における観光の共通コンセプトとすることで、観光事業者だけでなく、農 林水産業や地場産業等の事業者や、環境、文化、スポーツに関係する団体など、多様な関係 <u>者の連携を生み出し、地域の価値ある資源を再発見・再評価</u>するとともに、それらを磨き上 げ、観光資源として活かし、新たなツーリズムを展開していく。

◇「シガリズム」が大切にする3つのこと

滋賀のリズム

琵琶湖をはじめとした自然と歩みをそ ろえ、ゆっくり、ていねいに暮らしてき 三方よし、忘己利他など た滋賀の時間の流れや暮らし

滋賀のイズム

県民の環境意識、 滋賀ならではの理念

マザーレイクゴールズ

琵琶湖を切り口とした 2030年の持続可能社会へ 向けた目標(琵琶湖版SDGs)



滋賀のツーリズム

MLGsの考え方を大切した 滋賀のリズムや滋賀のイズムを 感じてもらう観光

(13) 多様な主体の連携について



『豊富な観光資源』

- ◆ 自然や景観
- ◆ 歴史的·文化的資産
- ◆ 暮らしや食
- ◆ 文化や環境に対する意識

▶ 地域に存在する<u>多様</u>な<u>観光資源</u>を活用する ニューツーリズム(体験・交流型の観光)の展開には <u>多様な関係者の連携が不可欠</u>

【例】:

農業×観光

漁業×観光

製造業×観光

自然×観光

歴史×観光

文化×観光

スポーツ×観光















(14) 滋賀観光の「強み」



滋賀の『強み』

- ▶ 琵琶湖をはじめとした豊かな自然や景観
- ▶豊富な歴史的・文化的資産
- ➤ 健康長寿を育む滋賀の暮らしや食
- ▶ 琵琶湖が育んだ文化や環境に対する意識

- ◇滋賀県には、<u>滋賀らしい自然、暮らし、歴史遺産、文化等の観光資源</u>が豊富に存在している。
- ⇒琵琶湖を始めとした<u>自然と歩みをそろえ、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた</u> 滋賀の時間の流れや暮らしを体験・体感していただける資源が存在

コロナ禍

(15) 「シガリズム」の推進





滋賀らしいツーリズム 「シガリズム」の推進

「<u>シガリズム</u>」は、琵琶湖を始めとした自然と歩みをそろえ、 ゆっくり、ていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らし を体感することで、<u>心のリズムを整える新たな旅</u>の提案です。

新しい滋賀県総合観光パンフレットの作成 び来の滋賀県総合観光パンフレットを刷新し、シガリズムのコンセプトに沿った新しい観光パンフレットを作成。



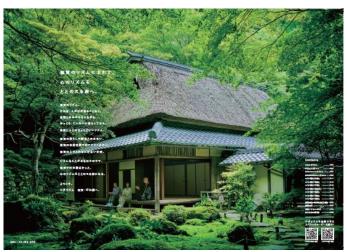
滋賀県公式観光PR動画 シガリズムを作成。現在 YouTubeにて「暮らし旅篇」「遊び旅篇」「県内各エリア(7エリア)」の動画を公開中。

(16) 「シガリズム」のこれまでの展開について



①「シガリズム」総合観光パンフレットの作成(第3弾)



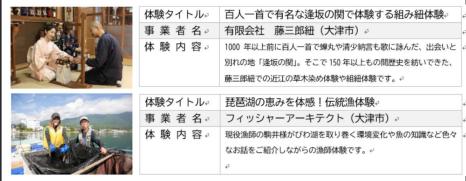


シガリズムのコンセプトに沿った新しい観光パンフレットを令和5年9月に第3弾を作成

②体験型観光コンテンツ「シガリズム体験」販売サイト開設



「シガリズム体験」 体験内容(一部紹介)



ビューローHP「滋賀県観光情報ウェブサイト」内に、シガリズムを体感できる体験型観光コンテンツ「シガリズム体験」の販売サイトを開設

(17) 「シガリズム」で創出する多彩なコンテンツ

組紐制作体験



<u>寺社仏閣</u>をはじめとした歴史・文化に恵まれた滋賀には、 雄大で美しい<u>琵琶湖と緑豊かな山野</u>、そこで育まれてきた 人々の暮らしがあります。



真珠核入れ体験

桜満開の琵琶湖疏水

(18) 多彩なコンテンツ①



ひさご寿し びわますさばき体験







料理長から直接指導いただくびわますさばき体験

滋賀県文化財"アメノウオ"釜炊きご飯を実食

(19) 多彩なコンテンツ②



ビワコパールサプライズ 核入れ体験









(20) 多彩なコンテンツ③



山脇源平商店







創業1730年の「近江真綿」工房で 真綿づくり体験

養蚕から真綿づくり真綿手引き、シルクの世界へ

(21) 多彩なコンテンツ ④



田中貞豊鍛刀場

刀鍛冶にしか扱えない「玉鋼」を用いた「刀鍛冶体験」









(22) 令和6年度の新たな取組①



シガリズム観光誘客キャンペーン事業

令和6年度予算額:95,358千円

目的

2025年に開催される大阪・関西万博、国スポ・障スポ大会を契機に、滋賀県への観光誘客を推進する。

概要

シガリズムを共通コンセプトに観 光キャンペーンを展開することで、 本県の魅力を発信・PRし、観光誘 客につなげる。



内容orスキーム

- (I) シガリズムコンテンツ創出事業 更なるシガリズム体験の創出、発信、文化観光の推進 等
- (2) シガリズムPR推進事業 デジタル・リアルの媒体や、イベント等を活用した情報発信 等
- (3) 観光物産PR推進事業 観光物産PR展の開催 等
- (4) ロケツーリズム推進事業 県内での撮影を支援した映像作品のロケ地などを巡るPR事業 等

支援例or事業効果

- 観光入込客数の回復(R6)
- 万博や国スポを契機とした、 観光入込客数の増加(R7)

【参考】現状・直近データ

観光入込客数

現状:4,997万人(令和5年)

目標:5,410万人を上回る(令

和6年)

(23) 令和6年度の新たな取組②



滋賀の文化観光推進事業

令和6年度予算額:11,800千円

万博等を見据え、インバウンド向けに滋賀の魅力ある文化観光を推進



(事業概要)

- ① 日本遺産の文化財、食文化などを活用し、体験・体感を中心 としたインバウンド向けのツアーを造成
- ② 造成したツアーについて、インバウンド向けのサイトへ の搭載、パンフレット等商材の制作
- ③ 滋賀の文化を体験、体感できる観光コンテンツのPR
- ④ インバウンド誘客支援(トッププロモーション&マーケティング)



針江・霜降の水辺景観



■造成ツアールートイメージ

竹生島







観

"orya" RHYTHM

> 文化資源の 魅力向上・発信 > 文化資源の保存・活用

インバウンド増加







びわ湖ホール



近江八幡の水郷



県立美術館



(24) 「シガリズムペダル」、「シガリズムトリップ」

電車で滋賀へ!



①駅起点のサイクルツーリズムを推進



~駅から始まる、自転車さんぽ~ 『シガリズムペダル』 プロモーション企画がスタート

②電車を活用した観光周遊を推進



~心ととのう滋賀·びわ湖たび~ 『シガリズム トリップ』 ※「滋賀たび」をリニューアル

(25) 「シガリズムワーケーション」



豊かな自然や文化財の存在 都市部からの良好なアクセス









【これまでの取組】

- ・モニターツアー、アンケート調査
- ・受け入れ環境整備

【令和6年度の取組】

・親子を対象としたモニターツアー

(26) 「シガリズムスクール」



◇琵琶湖を通じてSDGsを学ぶ

MLGsを題材とした 教育旅行用教材

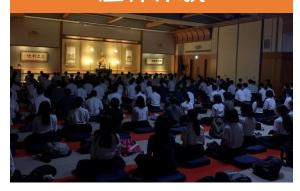






◇歴史に触れる

座禅体験



◇自然を体験する

奥伊吹でのスキー



しがのフィールド

そのすべてが"一人ひとりの学校"へ

自然・歴史・文化や環境への取組を学ぶことで 「心に残る思い出」となり、

「生きる力」と「感性」を育む

(27) 滋賀県観光キャンペーン





<滋賀県観光キャンペーン ティザーサイト> https://goshiga.biwako-visitors.jp/



"謎のX"を予想して「えらべるPay」当てよう! 滋賀県観光キャンペーン

- ◆ 2025年に開催される「大阪・関西万博」や「わた SHIGA輝く国スポ・障スポ大会」を契機に、滋賀 県への観光誘客を推進することを目的として、 2024年秋から観光キャンペーンを展開する
- ◆ キャンペーンのプレビューとして、ティザーサイトを 公開。アンバサダーの"謎のX"を予想するクイズ 形式のハッシュタグ(#)キャンペーンを実施中



東京・日本橋 「ここ滋賀」

おわりに~皆さんに期待すること~



滋賀県庁への就職を希望されている皆さんへ

滋賀県観光の推進に向けて、県全体で魅力を発信し ていくことが重要

- ① 県内の魅力ある観光地等を巡る
- ② 滋賀の魅力や評価を再認識
- ③一人ひとりが、滋賀県の魅力を発信
- ⇒<u>持続可能な観光</u>が推進できる<u>滋賀県</u>